



上中だより

教育目標 自ら学び 心豊かに たくましく生きる人
本年度の重点 一人ひとりの可能性をひらく教育活動の推進

11月号
令和6年11月25日
上川町立上川中学校

継続は力なり

校長 中川 季賢

二学期も残すところ、あとひと月となりました。時折降雪も見られ、着実に冬に向かっていくことを感じさせられます。今月は3年生の進路決定の時期を迎え、保護者対象の進路説明会や三者面談を実施しました。生徒個々の目標達成に向け、学校としても細心の注意を払い臨んでいきます。また、入試にあたっては、公立高校も願書作成がWebを活用することになるなど入試制度も少しずつ変化してきています。学校としても適宜情報提供してまいりますので、ご家庭でも確認していただけますようお願いいたします。

さて、「継続は力なり」とはよく聞く言葉ですが、持続の大切さを理解しつつも、持続をし続けることの難しさは誰もが実感することではないでしょうか。では、どうすれば持続が可能なのでしょう。多くのオリンピックや青山学院大学駅伝チームの箱根制覇の陰の立役者であり、フィジカルトレーナーの中野ジェームズ修一氏は、「モチベーションテクニック」を考案し、私たちが陥りがちな「ゼロイチ思考」を否定しています。ゼロイチ思考とは、物事をやらない（ゼロ）か、やる（イチ）で分ける考え方です。例えば、「一日10km走ると決めたら、その間は完璧に10km走らないと自分の努力を認めない」という考え方です。これだと、できなかった日が失敗体験になり、いつしか嫌になってしまいます。しかし、ゼロイチ思考ではなく、5kmでも3kmでも”続ける”ことを重視すれば、やる気は失われず、かえって自信や達成感につながるのだと、氏は語ります。

短期に結果を出さなければならない場合はそうは言うてはいられないかもしれませんが、ゴールが先にある場合は、モチベーション（何かに取り組む原動力や意欲）を上げる考え方が必要なのではないでしょうか。大切なのは妥協する3kmではなく、できる限りの3kmや5kmを積み重ねることのように思います。一年の締めくくりは次の年のスタートにもつながります。私自身も含め、一日一日を大切にできる上川中学校でありたいと思います。

地域・保護者の皆様には今後とも生徒たちを温かく見守ってくださいますようよろしくお願いいたします。



健康講演会 10月28日（第2学年）、29日（第3学年）、11月11日（第1学年）

「中高一貫事業・健康講演会」を学年ごとに実施しました。学年に応じて、健康や生命の大切さ、人権についての理解を深め、人との関わり方や今後の生き方について深く考えることを目的としています。生徒たちは、講師の方々の専門的な講話に熱心に耳を傾け、講話後のモデルや資料を活用した体験交流活動などにも意欲的に参加していました。

ご家庭における会話の中でも、かけがえのない生命の尊さや子育ての経験等を話題にいただければ幸いです。



12月の行事予定

日	曜	行 事
1	日	
2	月	朝読書強化日(1年)
3	火	朝読書強化日(2年)
4	水	朝読書強化日(3年)
5	木	上級学校・企業説明会(2年)
6	金	学力テスト(3年・模試)
7	土	
8	日	
9	月	校内研修⑧
10	火	常任委員会
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	職員会議⑬
17	火	
18	水	参観日
19	木	
20	金	生徒会レク・球技大会
21	土	
22	日	
23	月	
24	火	終業式、教科別学習相談会
25	水	上ジャン・地域未来塾①
26	木	上ジャン・地域未来塾②
27	金	上ジャン・地域未来塾③
28	土	
29	日	年末の休日(学校閉庁日)
30	月	年末の休日(学校閉庁日)
31	火	年末の休日(学校閉庁日)

進路説明会 (11月8日・金)

全学年の保護者を対象に、令和7年度の高等学校入学者選抜に関する進路説明会を実施しました。本説明会では、今年度から導入される公立高校出願手続きにおけるウェブ申請の方法や進路選択のポイント等について、資料に基づいて詳しく説明しました。

ご多用の中ご参加くださいました保護者の皆様、大変ありがとうございました。

赤い羽根募金活動

「赤い羽根募金活動」を10月16日から生徒玄関ロビーにて3日間行いました。生活委員会が中心となり、全校生徒に募金を呼びかけ、たくさんの協力を募りました。10月28日に、町の社会福祉協議会へ募金を贈呈し、担当者より「上中生の心温まる善意に大変感謝します」と謝辞を頂きました。



テスト前学習会 (11月21日・木)

1・2年生が2学期期末テストに向けて、「テスト前学習会」を行いました。生徒たちは、自分で学習したい教科を決めて、教科担任からテストに向けての復習や個別指導等を受けながら、学習に熱心に取り組みました。

生徒が主体的に学習に取り組み、個々の状況に合わせた少人数指導が学習効果を高めています。



児童・生徒主張のつどい (11月17日・日)

「第52回上川町児童・生徒主張のつどい」が「かみんぐホール」で開催され、本校から3名の生徒が発表しました。八巻彩月さん(1年)は「読書と向き合う」、横井来海さん(1年)は「紙ストローの必要性」、菅原未尋さん(2年)は「学校の制服の意味は？」についてそれぞれ落ち着いて堂々と自分の考えを主張しました。上川町内の小学生から高校生までの様々な考え方や主張が発表され、大変意義のある素晴らしい「つどい」となりました。

